



ダイバーシティ推進室 女性研究者紹介

文部科学省人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」



山陽小野田市立
山口東京理科大学



CONTENTS

- ・ごあいさつ
- ・女性研究者の紹介
- ・現在の状況
- ・推進事業の取組
- ・女性活躍推進計画
- ・各種支援について



ごあいさつ

社会の急速な変化に伴い、「男女雇用機会均等法」や「障害者差別解消法」などの法整備が進み、「ダイバーシティ推進」「ワークライフバランス」「共生社会の実現」といった価値観が、教育・研究の現場においても重要なテーマとして広く認識されるようになってまいりました。

山陽小野田市立山口東京理科大学では、性別、国籍、年齢、ライフスタイルなどにかかわらず、すべての構成員が尊重され、能力を最大限に発揮できる環境づくりを目指しています。多様な人材と価値観を積極的に受け入れ、教育研究活動の基盤をより充実させるため、さまざまな施策を展開しております。

特に女性研究者の支援においては、研究環境の整備、ライフイベントに応じた柔軟な支援、研究力向上を目的としたプログラムの実施、さらには意識改革を促すダイバーシティ関連セミナーなど、多角的な取り組みを進めております。

本パンフレットは、こうした取り組みの一環として作成されたものであり、地域連携や生涯学習への貢献、そして学生にとってのロールモデルとして活躍する本学の女性研究者をご紹介します。研究者としての目標や研究テーマ、研究に取り組むきっかけなど、日常の講義では見えにくい一面を知っていただける内容となっております。また、後半では本学におけるダイバーシティ推進の現状と今後の展望についてもご紹介しております。

本パンフレットが、女性研究者の皆様のキャリア形成や研究活動の一助となるとともに、より多様性に富んだ学術環境の実現に向けた理解と協力の契機となれば幸いです。

本学の取り組みにご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ダイバーシティ推進室長・副学長
堤 千佳子





工学部 機械工学科

神名 麻智 准教授

KANNA, Machi

- 博士 (理学)
- エネルギー工学



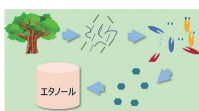
エネルギー問題の早期解決を目指す

廃棄物からの高効率エネルギー生産

昨今のエネルギー問題を解決するために現在利用されている資源のみならず、様々なものからのエネルギー変換に挑戦しています。特に、普段捨てられているものに着目し、それらを我々が使えるエネルギーの形に変換する方法を確立します。例えば、普段大気に出て行ってしまう廃熱や、使用用途が決まっていない木や草なども対象にしています。また、エネルギー変換の方法のみならず、効率、コストも考え、持続可能な資源循環システムを確立することを目指しています。



山陽小野田市厚狭の藤井牧場さんの堆肥です。堆肥化は、時期にもよりますが、60°Cから80°Cの熱が発生します。



木や草などに含まれるセルロースなどからバイオ燃料であるエタノールを生産することができます。



#バイオマス #堆肥化 #エネルギー変換

犬を迎え入れてから家族の生活が変わり、家族旅行はキャンプになりました。

工学部 医薬工学科

井上 幸江 教授

INOUE, Sachie

- 薬学修士・医学博士
- 生命科学系病態生化学分野



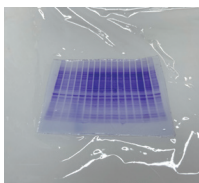
健康長寿の秘訣は遺伝子スイッチ！

遺伝子群スイッチの ON / OFF を研究

ヒトの身体は、約60兆個の細胞から成り立っています。その1つ1つの細胞に生きていくのに必要なすべての遺伝情報が含まれています。その遺伝情報を必要な時に必要なだけ働かせるシステムが遺伝子スイッチです。私の研究対象は、約2万個ある遺伝子のうち、環境変化や病原体から身体を守る遺伝子群のスイッチです。そのスイッチがいつONになり、いつOFFなるかを明らかにすることによって、病気の予防や治療に役立てたいと研究を進めています。



遺伝子の情報をもとに作られるたんぱく質の分離装置（電気泳動装置）。



電気泳動装置で分離されたタンパク質群。



#遺伝情報 #遺伝子スイッチ

生け花を習っています。無心になれるひとときです。

工学部 応用化学科

王 可瑄 講師

Wang Ke-Hsuan

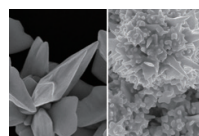
- 博士 (工学)
- ナノ材料化学・界面化学



メカニズムの解明により高効率な材料を開発

材料のメカニズムを解明し高効率な材料開発をめざす

物質のサイズがナノメートル程度になると、物理的・化学的性質が変化し、バルク材料と異なる特性を示すようになります。当研究室は、遷移金属や貴金属材料を精密に構造制御することで、触媒・光機能性材料・電子材料などの材料開発を行っています。たとえば、金の化学還元において、ハロゲンイオンの添加により、金ナノ粒子の形状を自在に操ることができます。これらの材料開発にあたり、その場分光測定を行い、材料のメカニズムを解明することで、より高効率な材料開発をめざしていきます。



金ナノ粒子の電子顕微鏡写真です。触媒・電子材料・生体材料に応用するべく、電解質や電場の違いにより金ナノ粒子の精密構造制御に成功しています。



電気化学反応で機能するスマートウィンドウです。遷移金属薄膜の酸化・還元により着色をコントロール。将来的には次世代機能性材料への応用が期待されています。



#材料開発 #メカニズムを解明

アメリカ電気化学会という国際学会で発表した際に、空き時間に街を散策しました。

薬学部 薬学科

稲見 圭子 教授

INAMI, Keiko

- 博士 (薬学)
- 有機化学系有機薬化学分野



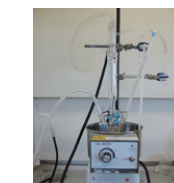
がん予防がん治療めざせ制圧

活性発現機構の解明と、制がん剤の創製

薬学における有機化学の知識を基盤として、「生理作用をもつ」新規有機化合物の合成と反応性、生体分子との相互作用を検討することで、活性発現機構の解明に関する研究を行っています。とくにがんの予防をめざして研究を進めています。発がん性N-ニトロ化合物の詳細な活性化機構の研究や植物・食品に含まれる発がんを抑制する化合物の探索研究をはじめ、活性酸素消去化合物、一酸化窒素供与体などの創製にも取り組んでいます。



カラムクロマトグラフィーで分離し、目的化合物を精製中です。



不活性ガスの雰囲気下、試薬類を加え、化合物を合成中です。



#がん予防 #活性発現機構

メダカ、金魚、エビ、タニシ、ミジンコが当研究室のアイドルたち。彼らに癒されながら、学生たちと共に研究・勉学に励んでいます。



薬学部 薬学科

坂井 久美子 講師

SAKAI, Kumiko

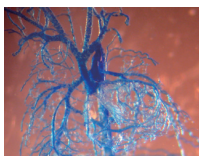
- 博士（医学）
- 生命科学系薬学倫理学分野



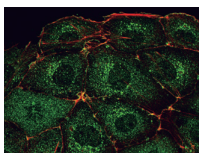
血管をゆるめる

副作用の少ない高血圧治療薬の研究

高血圧は万病の元です。原因のひとつは血管の縮みすぎですが、それをゆるめる薬につながる研究をしています。薬には必ず副作用がありますが、同じ効果をもつ薬でも薬が違えば副作用も違います。そして、ある人にとってある薬の副作用は都合が悪くても、同様の効果がある別の薬の副作用は問題ない場合があります。高血圧の治療薬も、できるだけ多くの種類があった方が何かと都合が良いのです。私たちは、研究をとおしていろいろな種類の高血圧治療薬をつくろうとしています。



心臓の周りの血管です。心臓の形がわかりますか。



組織の表面を支えている細胞を特別な方法で色付けするとこのように見えます。細胞核の位置がわかりますか。



#高血圧治療薬 #副作用

県内外のジェラート屋さんやカフェを探すのが好きです。

共通教育センター

縄田 也千 教授

NAWATA, Yachi

- 修士（芸術学）
- 版画（リトグラフ）



描画・製版・刷版の工程を作家一人で担う

版画（リトグラフ）の制作と発表の活動をしています

浮世絵は「描く・彫る・刷る」が分業化されていましたが、現代はそのプロセスを一人で行う創作版画が主流です。版画といっても様々な版種がありますが、院の頃からリトグラフの制作をしています。描画がそのまま印刷されるのが魅力ですが、彫刻刀による凹凸や銅板腐食による物質感がないため、版が不安定でつぶれ易く、職人的技術を持っていないと、刷ったものが構想とはほど遠いものになってしまいます。このやっかいな技法と向き合い、誠実でゆるぎない作品を制作する事が生涯の目標です。



亡き父が遺してくれた築70年の古い自宅アトリエ風景。ここで絵の構想を練り、版の重ねを計画し、描画を行います。



実際に版画を刷る自宅工房。ここで製版し、リトグラフ専用プレス機で刷版します。インク、溶剤、ローラーなどが置いてあります。



#創作版画 #リトグラフ

地域貢献のため、市内の保育園で造形教室を行っています。ピカソみたいな子どもの絵に癒されています。純粋無垢な幼児期の絵は最高！

共通教育センター

堤 千佳子 教授

TSUTSUMI, Chikako

- 文学修士
- アメリカ文学



作品の社会背景を読み取る

19世紀末のアメリカの作家、Henry James を研究

文学の研究とは、作品のみならず、作者の人生、時代背景、社会背景、文化的背景などを総合的に分析することです。ライフワークであるHenry Jamesの研究も、資本主義経済がもたらす価値観の変化、消費のあり方、社会の動き、財産をめぐる複雑な人間模様、映画と原作との相違点など、様々な視点から行っています。また、作品に登場する美術作品との関連性などにも関心を持ち、研究に取り入れています。優れた文学作品は読むたびに違う顔を見せ、常に新たな発見と喜びをもたらしてくれます。



研究対象であるHenry Jamesの作品と研究書の一部。研究室には、好奇心を刺激する多彩なテーマの書籍が並んでいます。



研究テーマのひとつである文学作品とその映像化についての著書と、その中で取り上げた作品『鳩の翼』のDVDパッケージ。



#Henry James #アメリカ文学 #少女小説

『赤毛のアン』の舞台となった家の主人公の部屋を撮影したもの。実際に訪れることで、新たな発見と感動が生まれます。（カナダ、プリンスエドワード島）





共通教育センター

池田 容子 准教授

IKEDA, Yoko

- 修士 (文学)
- イギリス文学



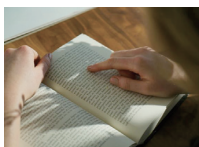
愛って何だろう？

「愛」を探る

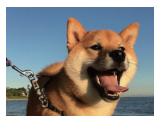
イギリスの文学作品をとおして、「愛とは何か」、そして「愛はどのように芽生え、育まれ、存在し続けるのか」を探っています。パソコンやスマホなどの文明の利器のおかげで、コミュニケーションは気軽に手軽なものとなりました。しかし、深く他者と関わろうとするのならば、これらの機器よりも、もっと重要な役割を果たす何かがあると私は考えています。私たちの暮らしを、より豊かにしてくれるであろう、この「何か」を探し求め、文献に当たっています。



目には見えませんが「愛」は確実に存在しています。誰もが持っていたり、感じたりするこの「愛」とは、一体何かを探っています。



愛の成就をめざしつつ、遅く生きていく女性達と、彼女らを取り巻く社会を、Jane Austenの作品をとおして眺めます。



#愛とは何か #コミュニケーションの本質

普段、運動する機会がないので、せめてもと思い、ほぼ毎日ウォーキングをしています。心身共に健康でありたいと願っています。

共通教育センター

兼安 洋乃 准教授

KANEYASU, Hirono

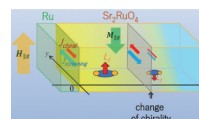
- 博士 (理学)
- 理論物理・物性理論



超伝導現象を理論的に解明！

超伝導の状態や現象を理論的に研究

超伝導の状態や現象がどうなっているかを理論的に調べています。超伝導はふたつの電子がペアになった状態ですが、どのような理由で安定となっているか、物質の電子状態とペアを導く引力起源の関係から説明を試みています。また、磁場とカップルした電流・磁化の現象を、物質の特徴を表す数値モデルや方程式を解析して調べています。解析にはスーパーコンピュータを使うことがあり、数値解析と数式表現の両面から理解を試んでいます。



磁場中のカイラル超伝導の状態や電流を、接合の境界条件をもつ方程式を数値解析して調べてきました。



ノートPCからスーパーコンピュータへアクセスしています。インターネットにつながっていれば、どの場所からでも数値計算が出来ます。



#超伝導 #電子状態との関係

理論研究のためか座っている時間が長いです。大学近くが海なので、運動に潮風のなかをサイクリングしてみることがあります。

共通教育センター

田島 弥生 准教授

TAJIMA, Yayoi

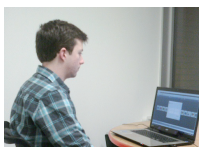
- 博士 (学術)
- 認知言語学・語用論



言語違えば思考も変わる？

異なる母語話者間での周辺認知と言語との関連性

私たちは言語を使っているものと考えています。言語をまったく介さずに何かを考えようとしても、それはとても難しいことです。そうだとすれば、私たちの思考は言語の影響を受けているのではないかと、私たちの見ている世界はみんな同じというわけではなく、自分が普段使用している言語によって少しずつ違うのではないかと、この考え方を言語相対性理論といいます。この理論にもとづき、日本語母語話者と英語母語話者の周辺認知と言語との関連性について、眼球運動測定装置を使って実験しています。



眼球運動実験の様子。遠赤外線を使って、眼球に接触することなく目の動きを計測します。

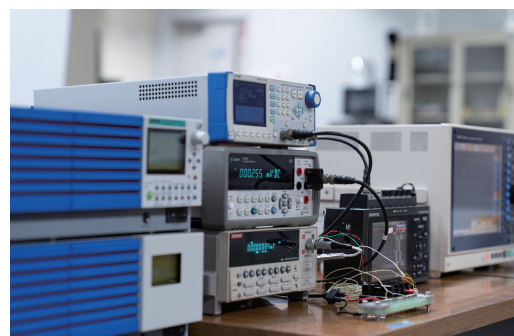


眼球運動のヒートマップ。どこに視線が集中しているかわかります。



#言語相対性理論 #言語と思考

英国の大学院時代のハロウィーン。海外留学希望の方はどうぞお気軽にご相談ください。





共通教育センター

福田 みのり 准教授

FUKUDA, Minori

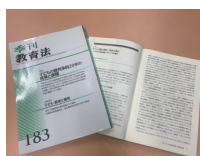
- 修士 (教育学)
- 教育心理学・発達心理学・子ども臨床



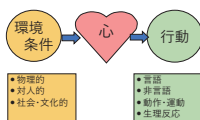
子どもの心と権利を守りたい

子どもの相談支援の在り方について考える

18歳未満の子どもを支援する現場での経験をふまえて、子どもたちにとって相談しやすい相談機関の在り方について、心理学の立場から研究をしています。最近、日本でようやく子どもの権利を中心とした支援の在り方が国レベルで議論されるようになっていますが、まだまだ子どもを権利主体として考える子ども観が浸透しているとはいえません。「まずは、困っている当事者である子どもに話を聞いてみよう」と、誰もが当たり前のようになり、実行される社会になることをめざし、研究を行っています。



著作物の一部です。『季刊教育法』の特集「子どもの権利条約 20 年の成果と課題」中の「子ども支援の相談・救済の視点」について。



心とは何か？目に見えない曖昧なものについての科学的研究とは何か？心理学を学ぶ中で感じてもらえるとうれしいです。



#子どもの相談支援 #教育心理学

日本で初めて設置された子どもに関する公的第三者機関で相談員として働いていました。様々な人と話をすることが好きです。休日は温泉に入ってリフレッシュしています。

共通教育センター

渡辺 彰子 講師

WATANABE, Akiko

- 修士 (学術)
- 応用言語学



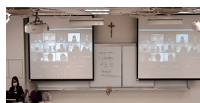
相互理解ってなんだろう

異文化間の相互理解を深める対話のメカニズムの解明

私の研究テーマは、「相手を深く理解するにはどうすればよいのか」です。コールバーグの道徳性発達理論と、バーコウィッツのトランザクト分類法を使って、対話の中で相互理解がどう深まるかを分析しています。特に、聞き手に深い気づきを与える発話に注目し、言葉や非言語的な要素を分類しています。この研究を通して、異文化間理解や教育現場でのコミュニケーション力向上に役立てたいと考えています。



大阪の小学校で英語の授業を見学しました。子どもたちは難しい英語も助け合っていて、感心しました。



台湾の輔仁大学 (Fu Jen Catholic University) と食をテーマにした授業の様子です。日台の学生同士が話し合います。

#異文化間理解 #コミュニケーション能力 #相互理解



オーストラリア留学中、教会で聖歌隊に参加したり、地元ラジオで番組を担当したり、様々な文化体験をしました。

共通教育センター

殷 爽 講師

YIN SHUANG

- 博士 (教育学)
- 教育制度学、教育行政学、比較教育学、教師教育学



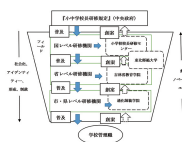
「誰」が世界の教育を作りあげているのか？

教員、校長の研修制度、専門職化に関する研究

教育のキーパーソンとしての教員、校長の育成制度が、なぜ・どのように形成しているのか、ということが主な研究関心です。日本だけではなく、諸外国の教育制度、学校教育の事情なども視野に入れ、その国、社会、さらに地域の文化と特質が多様な制度の形成に対して、どのような影響を与えているのかを考えています。未来に向けてどのような教員、校長を育成するか、どのような制度が作成されているのかについても研究を進めています。



中国のフィールドワークでは、各地域から集合した校長らの反応が観察できました。写真は校長が協力して作った「知恵の樹」です。



教育制度の事象をもとに、古い制度理論を検討しながら、現代社会の教育制度にも適合する、新しい制度理論のモデルを模索します。

#専門職として教員、校長 #制度の形成、変化と文化



スマートフォンで夕方の雲を撮影することに夢中になっています。夕空の情緒の変化に深く共感して、楽しんでいます。





現在の状況

山陽小野田市立山口東京理科大学の事務局では、男性 35 名、女性 49 名の事務職員が勤務しています。
(令和 7 年 4 月 1 日現在。専任職員、臨時職員を含む)

【部局紹介】

- ・総務部 — 総務課・広報課・人事課・財務課
- ・管財部 — 施設管理課
- ・教育推進部 — 教務課・入試課・情報システム課
- ・学生支援部 — 学生支援課・進路支援課
- ・図書館事務室
- ・研究推進部 — 研究推進課
- ・地域連携推進部 — 地域連携推進課・新学部設置準備室

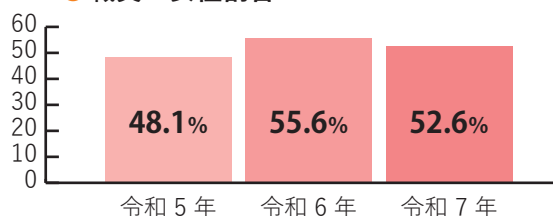
【数字で見る女性の職業選択に資する情報（事務職員）】

専任事務職員では、職員の女性割合や管理的地位にある職員に占める女性の割合も増えており、勤続年数の男女差異も少ない状況です。

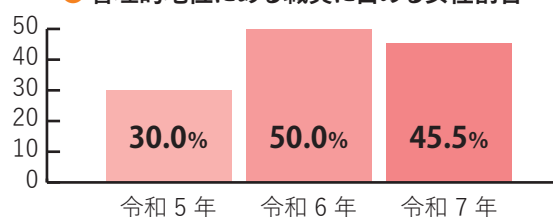
教育推進部 教務課職員からのコメント

教務課では、授業運営をはじめ、履修・成績管理、各種証明書の発行対応などを担当しています。育児休業からの復職後、家庭と仕事の両立に日々取り組むなかで、時間単位で取得可能な子どもの看護休暇や、会議開始時間の早期化といった制度・配慮には非常に助けられています。また、制度の整備だけでなく、所属部署の理解も大きな支えです。今はまだ支えられることが多い立場ですが、今後は、私も多様な事情に配慮し、誰もが安心して働き続けられる環境づくりに積極的に貢献していきたいと考えています。

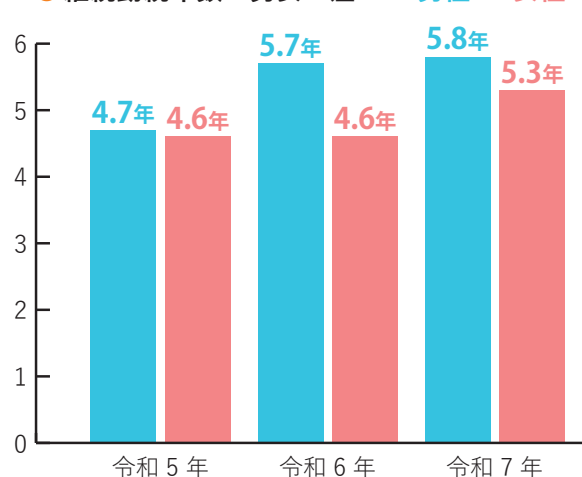
● 職員の女性割合



● 管理的地位にある職員に占める女性割合



● 継続勤続年数の男女の差



育児支援

仕事と子育てを両立するための支援で、3 歳から 12 歳の学童を対象にした学校などの長期休暇中や学内イベント時に学童保育・一時預かりを提供しています。

屋内活動の様子



巨大シャボン玉づくり

竹ぼうきづくり



薬草園見学



推進事業の取組

- 2025年度**
- ・次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定
 - ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定
 - ・「やまぐち“とも×いく”応援企業」に登録
 - ・女性研究者支援事業・育児介護支援事業各種
- 2024年度**
- ・ダイバーシティ関連セミナー
 - ・女性研究者支援事業・育児介護支援事業各種
 - ・工学女子交流会を開催
 - ・チルドレンデイキャンプ
- 2023年度**
- ・ダイバーシティ関連セミナー
 - ・「やまぐち子育て応援企業」および「やまぐちイクメン応援企業」に登録
 - ・女性研究者支援事業・育児介護支援事業各種
 - ・チルドレンデイキャンプ
 - ・ダイバーシティに関するアンケート
 - ・働くパパママ交流会を開催
- 2022年度**
- ・ダイバーシティ関連セミナー
 - ・大学開放デーでのダイバーシティ関連企画
 - ・女性研究者支援事業・育児介護支援事業各種
 - ・チルドレンデイキャンプ
 - ・ダイバーシティに関するアンケート
- 2021年度**
- ・やまぐち健康経営企業として認定
 - ・ワークライフバランスに関する教職員の意識調査を実施
 - ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画を策定
 - ・ダイバーシティ推進本部及びダイバーシティ推進室を設置
- 2020年度**
- ・文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に参画
 - ・女性活躍推進担当副学長を設置
 - ・女性活躍推進委員会を設置
 - ・女性活躍推進計画を策定
 - ・障害者活躍推進計画を策定
- 2019年度**
- ・障がい学生支援コーディネーターを配置
 - ・特別休暇の適用範囲の拡大
- 2018年度**
- ・やまぐち男女共同参画推進事業者として認証
 - ・学生リーダーズキャンプで聴覚障害の特性及び聴覚障害者のためのノートテイク勉強会を開催
- 2017年度**
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領を策定
 - ・学生のための健康セミナー「LGBTsの基礎知識」を開催
- 2016年度**
- ・市民のためのサイエンスカフェ「リケジョが語るサイエンスへのご招待」を開催
 - ・母性健康管理のための休暇が取得できる制度を改正

チルドレンデイキャンプ Vol.2



電子コイルを用いて
電磁石釣り竿を工作

ジャンベ太鼓を
楽しむ様子



野外活動の様子





女性活躍推進計画

■ 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

山陽小野田市立山口東京理科大学は、女性がその個性と能力を十分に発揮できる社会を実現し、男女ともに教職員全員が活躍できる大学となることを目指し、次のとおり女性活躍推進のための行動計画を策定し、取り組みを進めます。

1 計画期間

2025年4月1日から2028年3月31日まで

2 本学の課題

教育職員に占める女性の割合が低く、また、女性が管理職を目指したいと思える環境整備が十分ではない。男女ともに、仕事と生活の両立を図る組織的取組をより充実させる必要がある。

3 目標と取組内容・実施時期

【目標 1】教員の女性割合を15%以上にするを目指す。

＜実施時期＞（2025年4月～）

- 女性活躍推進について、ダイバーシティ推進室から発信する。
- 女性に限定した教員公募、女性を優先した教員公募を実施する。
- 仕事環境等に関する教職員の意識調査を実施する。

【目標 2】女性教員の外部資金獲得割合7%増加を目指し、キャリア向上につなげるための支援体制を強化する。

＜実施時期＞（2025年4月～）

- 女性教員にキャリアアップに関する意識調査を実施する。
- 女性教員に研究費獲得、科研費採択等に関するセミナーや相談会を実施する。
- 女性教員の研究活動やキャリア形成を支援するため、メンター制度を導入する。

【目標 3】教職員一人あたりの年次有給休暇の取得日数年10日以上を目指す。 （10日未満付与者を除く）

＜実施時期＞（2025年4月～）

- 教職員の年次有給休暇取得状況をデータ化し、所属長に提供する。
- 「年次有給休暇取得推進月間」を設定し、年次有給休暇取得を促進する。





各種支援について

女性研究者への研究支援

- **優秀な女性研究者への研究費支援経費**
女性研究者個人を対象に研究費を補助する制度です。
- **女性研究者が代表の共同研究費支援経費**
女性研究者が研究代表の共同研究グループを対象に研究費を補助する制度です。

育児・介護支援

- **研究補助員制度**
本法人において、広く教員の研究を支援し、もって研究者の研究活動の継続と研究力向上を図ることを目的として、「研究補助員制度」を実施しています。
<研究補助業務の内容>
実験補助、研究データの解析、統計処理、文献調査、発表資料作成等の研究補助業務および大学共通機器の管理等に限ります。
- **長期休暇時の学童保育における共同利用(山口大学主催「ヤマミィ学級」)**
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業にて、2020年度から長期休暇時の学童保育の共同利用を開始し、連日多彩な体験プログラムが構成されています。
- **チルドレンデイキャンプ**
仕事と子育てを両立するための支援として、学校などの長期休暇中の学童保育・一時預かり保育を提供する制度です。3歳～12歳の児童を対象にした保育委託事業者による保育と学童に、本学独自のサイエンスの学びやアクティビティーを組み合わせせた企画です。
- **学内託児スペース貸出**
ダイバーシティ推進室を利用した学内託児スペースは、学内で開催されるイベント時の保育にご利用いただける教職員のためのスペースです。利用者は保育者を手配したうえで学内託児スペースをご利用いただくことが可能です(要事前予約)。利用を希望される教職員は、お気軽にダイバーシティ推進室までお問い合わせください。
- **育児サポートサービス及び病児保育施設等利用助成制度**
本学では、教職員及び学生の仕事・学業と家庭生活の両立を支援することを目的として、育児サポートサービス又は病児保育施設等の利用にかかる料金を助成する制度を実施しています。特に、これらのサービスを利用しなければ就労や就学が困難と認められる方を対象としており、安心して学び働ける環境づくりを進めています。

UD(ユニバーサルデザイン)マップ

山陽小野田市立山口東京理科大学では、ユニバーサルデザインの考え方をもとに、だれもが安心して過ごせるキャンパスづくりを実現するため、建物入口・スロープ・エレベーター等のバリアフリー情報等に関する情報を掲載したUDマップ(ユニバーサルデザインマップ)を作成しています。

多目的トイレの設置

車いす使用者や高齢者、子供(幼児)連れ、介助を必要とする人、LGBT(性的マイノリティ)の方など、さまざまな事情を抱えた人の利便性を考慮した、多機能トイレを設置しています。

<https://www.socu.ac.jp/diversity/>



山陽小野田市立
山口東京理科大学

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL 0836-88-3500 FAX 0836-88-3400
<http://www.socu.ac.jp/>

ダイバーシティ推進室 女性研究者紹介

文部科学省人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」